

平成25年度富士見市後期高齢者医療事業特別会計予算（概要）

1 予算概要

（1）予算編成概要

平成25年度当初予算は、被保険者数の自然増などの理由により、前年度に比べて大きく予算額が増加した予算編成となっている。

（2）予算規模

平成25年度当初予算の歳入歳出総額は、8億5,209万5千円となり、前年度に比べ、8,180万7千円の増、率にして10.6%の増となっている。

2 歳入予算の主な特徴

（1）後期高齢者医療保険料

保険料は、7億3,386万4千円となり、前年度に比べ、7,432万9千円の増、率にして11.3%の増となっている。被保険者数は9,634人で、前年度に比べて894人の増となっている。これは、前々年度から前年度にかけての増（449人）の約2倍となっており、この被保険者数の伸びが保険料増額の主な要因となっている。なお、一人あたりの保険料平均額は76,087円となり、前年度に比べ617円の増となっている。

（2）繰入金

繰入金は、保険基盤安定繰入金として1億1,722万円8千円となり、前年度に比べ、747万8千円の増、率にして6.8%の増となっている。主な要因としては、被保険者数の増に連動して、軽減対象者数・軽減額も増加すると見込まれるため。

3 歳出予算の主な特徴

（1）後期高齢者医療広域連合納付金

後期高齢者医療広域連合納付金は、8億5,109万5千円となり、前年度に比べ、8,180万7千円の増、率にして10.6%の増となっている。